

令和7年度 厚木市障害者協議会 第2回 実務者会議

| | |
|-----|---|
| 日時 | 令和7年10月2日(木) 午後2時から午後4時まで |
| 場所 | アミューあつぎ amyu スタジオ |
| 出席者 | <p>○委員</p> <p>厚木医師会 神奈川県精神科病院協会 厚木市身体障害者福祉協会 厚木地区手をつなぐ育成会 厚木市自閉症児・者親の会 精神保健福祉促進会フレッシュ厚木 厚木地区知的障害施設連絡会 厚木市・愛川町・清川村地域精神保健福祉団体連絡会 厚木市居宅介護事業所連絡会 神奈川県総合リハビリテーション事業団七沢自立支援ホーム 厚木市民生委員児童委員協議会 厚木市児童発達支援センター ひよこ園 相談支援事業所連絡会 厚木市地域包括支援センター 厚木市教育委員会 特別支援学校 障害者就業・生活支援センター ぼむ 厚木児童相談所 厚木保健福祉事務所 厚木市社会福祉協議会 厚木市障がい福祉課</p> <p>○事務局</p> <p>厚木市障がい福祉課 厚木市障がい者基幹相談支援センターゆいはあと</p> |

1 開会

司会（事務局：厚木市障がい者基幹相談支援センター）⇒進行：議長
議事進行 議長 相談支援事業所連絡会

2 議題

(1) 日中サービス支援型共同生活援助の報告について

○すぎな会生活ホームⅡ報告

～質疑応答～

厚木市手をつなぐ育成会

9番のところに「定期的に相談支援事業所と状況確認をしている」とありますけれど、定期的ってモニタリングで当たり前のことなんですけれど、それ以外に状況が変わったとか、普段職員が見ておられて、この方相談支援事業所に繋がった方がいいねっていう話はないんですか。

すぎな会生活ホームⅡ

モニタリングは通常ですけれど、先ほど申しましたとおり入院したり、対応が変わったりしたときは相談支援事業所に連絡をして対応したりということはありません。

厚木市手をつなぐ育成会

その案件の話はないんですか。今回。

すぎな会生活ホームⅡ

今日は持ち合わせていません。申し訳ございません。

厚木市手をつなぐ育成会

3番なんですけど、「散歩や買い物外出（日用品や衣類、おやつなど）」と日中活動と書いてありますけど、衣類の方は、すぎな会の場所から衣類（を購入する）の場所って遠いと思うんですね。買い物に行くのに一緒にバスかなんかで行ってるんですか。

すぎな会生活ホームⅡ

公用車を使ってでかけております。

厚木市手をつなぐ育成会

どこまで？

すぎな会生活ホームⅡ

伊勢原のイトーヨーカドーですとか、しまむらですとか、車がないと行けない場所ですので、車を利用して行っております。

厚木市手をつなぐ育成会

本人からの希望もあるんですか。

すぎな会生活ホームⅡ

そうですね。本人から言いますし、職員が見て変えようかねってところで、買いに行ったりしていることもあります。

厚木市自閉症児・者親の会

利用者様の平均年齢はこれ見ると、高いのかな。

すぎな会生活ホームⅡ

上が 88 歳、下は 30 代の方がいらっしゃるの平均して 60 後半、70 代が今年に入って増えてきた、という感じですよ。

厚木市自閉症児・者親の会

世話人の数が男性と女性とで違うのかなって思うんですけど、男性の方が世話人さんの数が多い？

すぎな会生活ホームⅡ

はい、どうしても時間数があったり、ここは数しか書けないので長く働いてもらえる女性が多ければ人数的には少なくとも対応できますし、短い時間ですとどうしてもというところがあります。

厚木市自閉症児・者親の会

男性の方が、支援が大変な方が多いのかなって思っています。

すぎな会生活ホームⅡ

今は男女同じくらい支援が必要な方がおられます。この職業にあることなのかもしれませんが、女性は割ときてもらえるんですが、男性の方はなかなかきてもらえず、うちは同性介助をうたってますので、男性がこないとなかなか（今いる）男性の負担が大きくなってしまっている現状がありますが、男性の方がちょっと少ないかなというところがあります。月ごとに職員の数が変わっているところがあるのが現実です。

厚木市手をつなぐ育成会

空き情報はどうですか。

すぎな会生活ホームⅡ

両方とも満室という形で埋まっておりますので、空きはありません。

議長

私からも一つ、6 番の地域連携推進会議、これからということなんですけれども委員さんのイメージってありますか。

すぎな会生活ホームⅡ

利用者さんと、利用者さんの家族と、地域の方が必須ということで、あとは福祉関係に知見がある人ですとか、地域の福祉施設の施設長さんに依頼するですとか、そういった形で今メンバーを構成しているところですよ。

議長

手探り状態ですよ。8番の「緊急・一時の受け入れ」は今回なかったということなんですけど、ニーズがあれば今後受け入れとか。

すぎな会生活ホームⅡ

緊急というとどういった状況で緊急になるのかわからないんですけど、登録だけして緊急になるのか、本当に行くところがないので入れてくださって形でくるのかわからない状態なんですけど、そうなった時にうちはどこまでできるのかご相談させていただければと思います。

○ともがき厚木船子 報告

～質疑応答～

厚木市手をつなぐ育成会

6番の「地域に開かれた運営について」ってところで、これから検討してやっていくって言われましたが、地域の自治会長さんとかにまずはご挨拶、そういう準備を経てやってくもんだと思うんですけど、そういったことはやってらっしゃらないんですか。

ともがき厚木船子

自治会には加入しているんですけど、その連携はまだとれていません。

厚木市手をつなぐ育成会

自治会に入られたら、口だけとか名前だけとかは結構あるんで、実際に清掃活動の手伝いをするとか、職員が積極的に（入居者を）連れていかれると、「どこそこにいる何々ちゃんね」っていう形でその辺うるちよろしても、声かけてもらえるんです。だから地域に根差しで欲しいと思うんです。よろしくお願いします。

ともがき厚木船子

ありがとうございます。

議長

短期入所は受けていらっしゃるんですね。

ともがき厚木船子

病院の方から一時帰宅してから、一回でなくてはいけないという、その間の期間に短期入所に入っていただいて、また病院に戻るとい。一回でなくてはいけなかったみたいで、受入れ可能ですかと連絡を受けて、そこは受入れさせていただきました。

議長

ありがたいです。緊急時の受け入れ先が相談やっているとなかなか大変だなと思うので。

時間が押しているようなので、1から12まででなく、要点を、どうしてもここはというところをお願いします。

○ソーシャルインクルーホーム厚木金田 報告

～質疑応答～

厚木市手をつなぐ育成会

3番の「余暇活動」と書いてありますが、余暇活動どんなものですか。例えば、よそで見たんですけど、お手玉を競争でやって数数えるとか、それをやりましょうかって言って、自然と集まってくるグループと一緒にやってるとか、ほんのちょっとですけど。あと早口言葉やる人って手をあげてそこに集まってくる人、その人が余暇活動に入ってくるっていう状態のところがあるんですけど、どういう余暇活動なんでしょうか。

ソーシャルインクルーホーム厚木金田

例えば20人いて20人一緒にやるっていうのは難しいと思うんですけど、みなさん個性がありますので、強制的にはできませんので、例えばそういうのが得意な方はそういう場を設ける、若い方なんかはあまりそういうのを好みませんので、とにかく外出したいと。美味しいものが食べたいと。そういったご要望に個々に答えていって、なるべく個人の意見を尊重してそれに対応していくってことで、実施しております。

厚木市手をつなぐ育成会

個からグループって輪になっていくことが理想だと思うんですけど、個人で1人割と動けるようになってる子がグループホームに入ると思うんですね。1人の生活はなんとかやっていける、それで今度はグループに合わせて、人に合わせてってところが、なかなか難しい。そういうのもちょっとやってほしいなって思っております。

ソーシャルインクルーホーム厚木金田

かしこまりました、今後の参考にさせていただきます。

厚木市自閉症児・者親の会

3番の日中活動で、他のサービスを使っている人が11名、8名の方は利用されていないと。その方たちって、暇を持って余してやっぱり支援とか工夫しないとイケないのかなっていつも思います。私開所当初か、何か月かしてから見学させていただいたんですけど、なんとなく雰囲気は、前の広い駐車場も覚えているので、雰囲気はわかるんですけど、日中どこにも行かない人の支援をただ見守るだけではどうしようもないと思うんで、その辺の工夫はどんなものがあるのかなって伺いたいのが1点と、もう1点は6番の「地域に開かれた運営について」で先程議長がおっしゃってましたけど、地域連携推進会議を今後どのように、どういうところと連携していきたいのかってことを方針というか、そういうのがあるのかなってことをお聞きしますね。

ソーシャルインクルーホーム厚木金田

日中いらっしゃる方っていうのは、精神障がいの方、なかなか外部と対応できないような方が結構いらっしゃるので、その方のペースを乱さないように、体調の良い日は何かしたいことを伺って、そのニーズに答えていくという風にしております。

6番の地域の件ですけれど、10月7日に実施を予定しておりまして、障がい福祉課の方3名出席してくださるということと、地域の方、あと地域で活動している訪問美容の方、後見人さん、利用者さん代表1名、ということで10名ほど今のところ出席がありますので、大変

緊張しているのですが、無事に開催できればなと思っております。

厚木市手をつなぐ育成会

回覧か何かに出たんですか。

ソーシャルインクルーホーム厚木金田

お知らせみたいのがありまして、参加する方には配布させていただきました。

厚木市手をつなぐ育成会

いただきたかった。

ソーシャルインクルーホーム厚木金田

わかりました、私会社員なので、上司の方に相談してお返事できればと思っております。

○ソーシャルインクルーホーム厚木三田 報告

～質疑応答～

厚木市手をつなぐ育成会

7番なんですけど、定期受診の方は訪問看護受けられるんですか。これは別料金ですか。法律では違うと思うんです。

ソーシャルインクルーホーム厚木三田

病院に定期通院されている方と別で、訪問診療を受けている方もいらっしゃいます。

厚木市手をつなぐ育成会

別の病院ですか。

ソーシャルインクルーホーム厚木三田

受診同行は、基本的に利用者さん大抵毎月あるので、そこでは我々がやっていくんですけど、どうしても車に乗れない、病院に行きたくないという方がいらっしゃるのと、訪問診療というかホームドクターの方を使わせていただいて、個々に契約をしまして。

厚木市手をつなぐ育成会

二重に使っているということですよ。

ソーシャルインクルーホーム厚木三田

二重ではないです。

厚木市手をつなぐ育成会

そうなんですか、そのように使えるんですね。

ソーシャルインクルーホーム厚木三田

内科と精神科のドクターがいらっしゃって。

厚木市手をつなぐ育成会

内科のドクターが2人いるってことですか。

ソーシャルインクルーホーム厚木三田

いえ、1名しかドクターは使えないので、どちらか受診なのか在宅で診ていただくか、になります。

厚木市手をつなぐ育成会

じゃあ、定期受診はやらなくてもいいって状態じゃないですか。

ソーシャルインクルーホーム厚木三田

ドクターがホームまで来ていただいているので。

厚木市手をつなぐ育成会

じゃあいいんですね。

ソーシャルインクルーホーム厚木三田

はい。

議長

9ページの方はこれから触れられる感じですかね。この「日中サービス支援型共同生活援助における改善報告書」については。

ソーシャルインクルーホーム厚木三田

(改善報告書説明)

議長

ありがとうございます。この改善報告については、明日につながるじゃないですけど、この先も支援は続いていきますので、本当に明日以降の支援につながっていくいい意見があるといいんですけど。特に再発防止策ですとか、その辺なんかのご助言なんかがあるといいなと思っているんですが。10ページの再発防止策です。

ソーシャルインクルーホーム厚木三田

ここに書いてある通りですね、これまでの三田内及びソーシャルインクルー内におけるホームの対応、我々運営支援の方で確認しなければならない対応を本来会社のルールとして対応しなくてはいけないところ、ちょっと神奈川の部分が弱かったという部分ですね。私も立て直しの部分で、これまで5回周らせていただいているんですけど、まだ来て1年です。徐々に徐々に今改革の方をさせていただいております。三田の方は今年の5月にすべて、本当に申し訳ない言い方になるんですけど、職員全交換いたしました。その部分とマネージャーの方ですね、ここまで立て直せるマネージャー、これ以上立て直せるマネージャー、そこをよくよく考えて検討して、立てさせていただいています。まだまだ弱いとは思うんですけど、もっともっと介入して良いホームを安心安全で皆さまが対応できるような形を作っていければと思っています。

議長

できたころ、三田さんにはお世話になって。なかなか大変な方受けていただいて。本当にお世話になりました。

厚木市自閉症児・者親の会

10 ページの今の報告のところで、虐待防止を含む研修って職員、法人内含めて定期的にやるべきだなと思いますけど、ご本人さまたちの支援を、じゃあ具体的に、まあ出てってくださってというのはないと思うので、この方たちがより穏やかにホームで暮らすためにはこうしましょう、とかそういう方向で少しは動いているんでしょうか。

ソーシャルインクルーホーム厚木三田

もちろんです。月に1回は支援会議をさせていただいております。それは会社であるルールでありますので、対応については、今は大丈夫でございます。

厚木市自閉症児・者親の会

なかなか難しい案件が多いと思うので、職員全員が同じ研修を受けても全員が100%にならないんですよ。バラバラの理解力が私たちもあるので、繰り返し、繰り返し同じことをやらなくてはならないっていう、研修の必要性を職員のみなさんが持っていて、よりよい運営をしていてもらいたいなって思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

OGH ソシオ KUKUNA 厚木 報告

～質疑応答～

厚木市自閉症児・者親の会

利用料はおいくらぐらいなのが1点目で、もう1つが日中いらっしゃる方がほとんどですよ、精神科デイケアに行ってる方が1人だけってことは、日中の支援ってやはり大変なのかなって思うので、この買物支援だって毎日いくわけにはいかないし。

GH ソシオ KUKUNA 厚木

毎日です。

厚木市自閉症児・者親の会

あ、毎日行くんですか、すごい。

あの、本人がなかなかのらなかつたりする時があると思うので、そのあたり、どのような支援をしているのか聞きたいのが1点と、1番最後の自己評価で強度行動障害の方の対応マニュアルの整備ってあるんですけどこれはまだ法的にはできていないってことですか。

GH ソシオ KUKUNA 厚木

作っているんですけど、個々によって解釈の仕方が支援員によってズレてしまうので、もうちょっとわかりやすいように噛み砕いて作っていかないとこのところを考えております。

厚木市自閉症児・者親の会

あまりにも強度行動障害の方の対応が難しくってホーム内でも支援の方が悩むって時に、市の重層的支援会議にあげてもいいし、地域支援マネージャーもこの県央地域にいますので、ぜひそういうところを使ってケア会議とか、そういうものにどんどんだして、ブラッシュアップしていつてもらいたいなと思います。

GH ソシオ KUKUNA 厚木

まず利用料のところでは、家賃が 50,000 円、水道光熱費が 20,000 円、日用品費が 5,000 円です。お食事代として朝食が 300 円、昼食が 500 円、夕食が 600 円、となっております。なので、だいたい 10 万円後半ですかね、1 か月の利用料が。という風になっております。

次に日中活動のところですけど、午前と午後、1 時間ずつ日中活動の時間を設けております。そこではお話にありました買い物、基本的にみなさん買い物に行かれるんですよ、入居されている方は。買い物に行かないと不穏になっちゃうみたいなの。なので 1 日中このお部屋に過ごすってことはないんです。買い物以外には歩行訓練とか、施設の周り 30 分くらいですかね、支援者と一緒に歩いたり、イベントってことで、そのイベントで使う絵だったり、貼紙だったりを作ったりしてなるべく 1 日中部屋の中で過ごすってことがないよっていう取り組みはしていて、今のところ、部屋で過ごすという方はいないです。

事務局：厚木市障がい福祉課

1 点だけ確認させていただきたいんですけど、8 番のところ「緊急・一時的な支援等の受け入れに対応しているか。」のところなんですけれど、虐待が疑われるケースを短期利用受け入れをしたとあるんですけど、このケースは支給決定自治体に虐待通報はされたんでしょうか。

GH ソシオ KUKUNA 厚木

区分 6 の方でちょっと親御さんが特徴があるというか、ちょっと乱雑というか、そういう方で、弊社のグループホームだけでなく、他のグループホームも短期入所で使っていらっしゃる方で、ある日痣ができています。その方が。その話があって。それを相談員の方から伺って。うちのほうで入浴するときちょっと痣があつてってことで。そういう案件があって。それについては相談員さんにどうでしょうねって話をさせていただいているんですけど。

事務局：厚木市障がい福祉課

疑いの段階であっても、支給決定自治体には通報の必要があると思います。

GH ソシオ KUKUNA 厚木

相談員さんから話を伺っても。

事務局：厚木市障がい福祉課

そうですね、実際に把握されたら通報はしていただきたい。

GH ソシオ KUKUNA 厚木

それはご本人様が転んだっておっしゃってたんですね。

事務局：厚木市障がい福祉課

ここにも疑われるって書いてありましたので、疑いがあるのであれば、黒でなくても疑いがあるという段階で通報は必要と思います。今後は、通報いただければと思います。よろしくお願いたします。

GH ソシオ KUKUNA 厚木

承知いたしました。

議長

日中支援型グループホームのみなさん、ありがとうございました。これで議題(1)の「日中サービス支援型共同生活援助の報告」については終了します。ホームのみなさんありがとうございました。

そうしましたら、続きまして議題(2)の「県立障害者支援施設の今後のあり方について」に移らせていただきます。神奈川県福祉子どもみらい局福祉部障害サービス課の運営指導グループ、よろしくお願いたします。

議題(2) 県立障害者支援施設の今後のあり方について

[当日配布資料参照](#)

～質疑応答、意見交換～

厚木市自閉症児・者親の会

入所している方のニーズというか、本人の意思確認ができる方たちなのかがちょっとよくわからないんですけど、だいたい何名くらいなのかと、本人の意思確認ができるのかどうか、っていうものがあると思うんですね。その辺はどうなのでしょう。

神奈川県 福祉子どもみらい局 福祉部 障害サービス課 運営指導グループ

中高年齢で比較的中軽度の利用者さんがいらっしゃっているので、言葉でのコミュニケーションというのはできる方というのが比較的多いです。利用者さんがだいたい90名くらいいらっしゃって、半分以上の方、6割が車椅子とかで、ご自分で自走できる方もいらっしゃいますし、サポートが必要な方もいらっしゃるんですけど、そういった形で歩行がちょっと難しい方が6割。また65歳以上の方が65%いらっしゃいますので、高齢の障がい者が多くいる施設となっております。

厚木市自閉症児・者親の会

市内で、さっきおっしゃっていただきましたけれど、バリアフリーで住めるグループホーム、または、アパートとかマンションとか、そういう形態のものは地域にできればそれは万々歳だと思うんですよ。それを管理するのが、民間移譲先であれば、それがいいと思うんですよね。それが日中支援型グループホームなのか、どうなのかわからないですけど、ご本人たちがずっと施設がいいっておっしゃってるのかわからないですけど、地域で普通に買い物したり、誰かの力を借りて生活したいんだよって気持ちがあれば、それを最優先すべきだと思うんですけど、高齢者が多いうって話は随分前から聞いてますので、そのまま地域に移行して果たして暮らせるかっていうとそこまでは難しい方が多いのかなって思うので、住める場所が、施設以外に住める場所があるのがベストかなって思います。

神奈川県 福祉子どもみらい局 福祉部 障害サービス課 運営指導グループ
ありがとうございます。

議長

厚木精華園を利用するのに、中高年齢が今は多いけれど、そこを目指しているわけではないんですね、ニーズによって変わりうることってどうですか。

神奈川県 福祉子どもみらい局 福祉部 障害サービス課 運営指導グループ

厚木精華園の利用者の方の地域移行ということは、ご本人の希望やそれまでの経験を伺ったりしながら、進めていくこととなります。建物をご覧になったことがある方もいるかと思うんですけど、老朽化が著しいんですね。また、山間の川の前に建っているというのもあって、居住棟の1階だと雨降った日など湿度が高く、床が滑って危険ということもあります。こういった状態で、修繕とかしますけど、施設さんの方でも24時間換気を入れたり、扇風機を回しているんですけど、住環境としてはこのままでいいのか。建物の傷みも早いので、そういったところも含めて、今後あの場所で生活するということが、リスクがあると考えられるので、今後、何かしら新しい展開が必要だということで、みなさんからご意見いただいた中で県としてできることですか、法人さんでできることですか、法人さんオリジナルで何かやりたいということがあれば、バックアップしていきたいなというところがあります。

精神保健福祉促進会フレッシュ厚木

質問なんですけど、私精神の家族会なので、知的の施設さんの方はあまり詳しくないんですけど、厚木精華園さんの存在は知ってるんですけど、そもそもなんですけど、県立なんですよね、民間移譲になったのはなぜですかっていうのと、やっぱりそれは時代の流れと言いますか、やまゆりの事件があってから、そういう施設に閉じ込めるのではなく、地域でって流れになったから神奈川県ではそういう風にやっていくから厚木精華園さんもってなったのか、っていうところと、先程国連の話がでてたんですけど、どういったところを指摘されているんでしょうか。日本は世界の中で見て、どういう風にみられているんでしょうか。

神奈川県 福祉子どもみらい局 福祉部 障害サービス課 運営指導グループ

まだ民間移譲を視野に検討しているというところなんです。なぜ民間移譲なのかというところなんですけど、先程お伝えいたしました、中高年齢の中軽度の障がい者のモデル施設として、中高年齢の中軽度の障がい者の方を1箇所に、ある程度まとめた集団で支援した方がいいというか、そういう時代だったということもあって、モデル施設としてやってきたけれど、県立の障害者支援施設としての役割、モデル施設としての役割は終わったというところになります。そのために、方向性として民間移譲という選択肢が今ある、というところなんです。この移譲の検討をする中で、ご意見いただきながらいろいろなことをトータル的に考えた中で結論はまだ先になります。

2番目の国連の勧告についてですが、ここで指摘されたことは、言葉がどういう風になっていたかまでは詳細覚えていないんですけど、障がいのある方を一つの場所に集めて支援するのは望ましくないという、結構直接的な表現で書かれていたかと思うのですが。

精神保健福祉促進会フレッシュ厚木

人権侵害だ、みたいな。

神奈川県 福祉子どもみらい局 福祉部 障害サービス課 運営指導グループ

すみません、手元に資料がなくご説明が足りないのですが、それはよくないと。なおかつ、地域生活がグループホームだけというのも違う、ということも記載がされているので、1人暮らしであっても重度訪問介護を入れたりとか、医療も訪問医療だとか、訪問看護を入れたりそういう風なあらゆる選択肢、私たちが色々選択しているのと同じような選択を持てるようにしなさいね、そういう努力をしなさいという内容で、国に対してもいつまでに報告しなさいということが記載されています。国も地域生活移行ということを随分前から言っていましたけれど、ここにきて一段とプッシュしているんな配慮している、そのような流れを受けて、県も市町村もということをやっているところなんです。ただ、今までうん十年と措置、収容の段階から始まり、すいません、表現が良くないのですが、別々の道を歩んできていたというところで、地域の理解とかってというのは難しいという現状があることはよくわかっていますし、一方で理解をしてくれているなというエリアもありますし、そこは各々人だったり、地域性だったりしますので、バラバラだとは思いますが、国際的に非難されているという状況はあるっていう状況があります。

議長

今日ご用意いただいた資料「厚木精華園の民間移譲に向けた地域との勉強会」の資料のところで目的のところは4つがあって、地域のニーズの確認、地域に溶け込んだ暮らしの実現に向けた課題とか、4つあるんですけど、今日は4つは無理ですよ。

神奈川県 福祉子どもみらい局 福祉部 障害サービス課 運営指導グループ

4つは無理なので、地域のニーズくらいで。

議長

そうですね、今日は地域のニーズ、困っているよとか、逆にやってみようとか、実現するかどうかわからないけれど、ニーズを拾って行ってそこに予算がつくかもしれないしってことの前段階というか、意見を聞く、という。さっきからショートステイの話をしてたのを聞いていて、緊急対応というか、割と困っていて、強度行動障害がある方がですね、去年の年末にご家族と同居なんですけれど、ご家族がいっぱいいっぱいになってしまって、12月の28日、ほんとに仕事納めの5時過ぎたあとに相談があって、私はもう帰っていたんですけど、市の障がい福祉課さんの方に連絡がつながって、それでどうにもならないってところで、実は厚木精華園さんではなくて愛名やまゆり園さんが受けてくださって、大変助かった、ご家族も大変助かりましたってことで。ほんとにそういう緊急の受け入れって大事だと思って。県立施設の役割だったということですよ。厚木地区知的障害施設連絡会さんそうですね。

厚木地区知的障害施設連絡会

私自身その時はいなかったんですけど、そのあたりのことは聞いております。実際に緊急の受け入れさせていただいて、今までお受けしたことがない、前情報がない方だったとお聞きしております。その方を現場の方々にお願ひしますということがなかなかいかないうって現状がある中で、対応としては当園の園長と部長が順番に泊まり、なんとか夜対応したという話は聞いてはおります。そういう形でマンパワーというのも変ですけど、やりくりをしたという現状はあるんですけど、そこらへんが今働いている職員たちの頑張りだけで

支えるっていうのはちょっと厳しい状況になってきているのかなってところと、そこらへん、県立施設の役割っていうか強さだと思うんですけど、その体制づくりをやっていかないと今後こういった形で受け入れていくってことは、やはり現場の負担感が大きくなってしまふのかなっていうのが一つだと思います。

また今話を聞いていて、グループホームって話があったと思うんですけど、結局グループホームを出ても、グループホームの職員さんたちが利用者の介護をしてそれで終わってしまっていれば、施設がグループホームに変わっただけで、横のつながりとかがなければ施設がグループホームに変わっただけと思っておりますので、であれば実際に地域でってなった場合にグループホームに移った場合にはその方々が、どういう形で地域とつながって行って、生活を潤していくのか考えていかないとただグループホームに移ったという形だけで完結してしまえば何の意味もないのかなと感じてしまっています。そこをどうしていくのが課題としてあるのかなと思っております。

議長

自治会につながるですとかですね。ショートステイの方もご家族が安心して地域と一緒に生活して、いざって時に受け入れ先があるって大きいんだろうなってことが。今回受け入れていただいたんですけど、やっぱり障がい福祉課の方と話すんですけど、そろそろ年末が近づいてきたよねって、ちょっとどうしようって話がでていて、ちょっとそこは我々相談もそうですし、支援者もそうですし、ご家族も不安でしょうし、受け入れ先が利用しなかったとしても、ある安心感っていうのはすごくありがたいなって思います。あれは助かりました、本当に。

厚木市地域包括支援センター

普段仕事は介護が中心なんですけれど、わかりやすく言うと自分の例え話なんですけれど、僕の家元農家なんで、竹やぶがあるんですよ。ある日竹やぶに男の人が体育座りしていたんですよ。本来なら警察呼んで変な人がいますって言って終わりなんだけれど、なんか見たことあるんですよ、その人。うちの近くのグループホームにいる男の人だったから、この仕事してるからグループホームの人とか見て、あそこのグループホームのあの男の人だなんて、警察呼ぶ前に声かけて、「どうしたの。」って、「ここの眺めが好きなんです。」って。「好きなだけどうぞ、気が済んだら行っていいからね。」って言って。地域に溶け込むってそういうことなんですよ。今までは今もそうなんですけれど、施設と地域は別々で、グループホームの人はその地域にできたグループホームの入所者の1人、じゃなくてその地域に住む住人の1人って認識をみんなが持てれば全然優しい世界が広がるはずなんですよ。さっきの最初の運営推進の話も聞いてても、この人たちがいやいややるんだなって、めんどくさいんだろうなって思いながら話聞いてたんですけど、介護保険の方では推進会議やってて特養とか有料老人ホームとかも推進会議開いて、民生委員さんとか自治会さんとか、われわれ包括とか呼んでなんとか地域に溶け込んでもらおうと、厚木包括でもこのあいだ正月ですけど、どんと焼きがあって、どんと焼きの自治会の人と一緒にどうですかって声かけてくれて、その施設の人がどんと焼きに参加したりして。あと地域って言っても自治会は担い手がいないんですよ、だからその介護施設の職員の方がどんと焼きの手伝いに入ってもらったり、なんかそういうことを重ねていくことでグループホームの人もだんだんと地域に溶け込めていくのが理想だなんて思いつつもなんですけど。ただそういうことが出来る人はいいんですけど、厚木精華園にいる人たちっておそらく僕たちからみたら要介護4とか5なんです。私どもの施設、もともと僕らは委託を受けているので、私は病院の職員になるんですけど、病院

の中に老人施設があるんですね、そこに元々障がいがある方が介護保険優先で、入ってきた方がいるんですけど、やっぱりケアの仕方が全然違うんですね。障がいの方と介護の方って。介護の方とはとにかく転ばせちゃいけないって、なんかあっちゃいけないっていうのが中心なんですけど、ケアのやり方が全然違って、厚木精華園さんの方に見学っていうか、どうやってケアしてるんだらうって僕らで様子見にいったら、もうほんとに好き放題。好き放題させるっていうか、あ、それでいいんだみたいな。考え方が変わったっていうのがあるんですけど。自立支援も必要なんだけど、世界からみてどうなのかわからないんですけど、大変になってきたら施設に入れるっていう考えが今も根強いし、日本は日本のやり方でやるしかないのかなっていうのがちょっと思いつつ。北欧の制度もいいなって理想的だなって思うんですけど。実際には障がいがある方も、失礼な言い方かもしれないですけど、障がいがある方ってそんなに長生きできなかったのが、今、平気で70超えたりしているし、先程も80幾つの方がいらっしゃるって言ってたので、それって障がいじゃなくて要介護なんじゃないかなって思いますが、そういう時って障がいから介護保険の方に移行していくつながりがまた必要なんじゃないかなってそういう印象を受けましたね。地域に溶け込んで自立できる人はさっき言った竹やぶにいるおじさんみたいな人はそういう世界でみんなを支え合って、専門職だけで支えるんじゃないなくて、地域で支えられる仕組みが必要なんだけど、80いくつで要介護なんだらうなって人は、それはそれで施設でお願いするみたいな、そういう分け方っていう考え方も必要なんじゃないかなって、ちょっと話を聞いてて思いました。以上です。

神奈川県 福祉子どもみらい局 福祉部 障害サービス課 運営指導グループ

ありがとうございます、ほんとにおっしゃる通りだと思います、ありがとうございました。

障害者就業・生活支援センターばむ

介護度とか、そういうの度外視して実際に私も行ったわけではないんですけど、皆さんも知っているかもしれないんですけど、愛川町にKCCワークスというA型とB型の事業所があつてですね、老朽化の話もありましたけれど、新しく建ったので施設施設していない綺麗な感じのところで、A型はクリーニングをやつてまして、B型はコロッケを作っているそうなんです。KCCワークスというのが、春日台センターセンターって名前があつて、春日台の中心になるセンターになろうよって意味があるそうです。その職員の方とやり取り、話をして、うちが支援している方でB型からA型にステップアップした方がいらっしゃるんですけど、ホームページを見ると高齢者の方の交流スペースがあつて憩いの場みたいな感じで、ほんとに福祉のために作られた施設というよりも、誰でもきていいですよ、コロッケ食べてくださいねってところで、感じなのかなって実際行ったことないので。また私が一事業所のことを言っているのかなっていうのもありますけど、春日台センターセンターに私も今度見学に行かせてもらいたいなと、数年前からできているので、母体は社会福祉法人なんですけども、老人系のところが母体でそこを作ったんですけど、そんな楽しい感じで地域に溶け込んでいるのかなっていうイメージがあるのでちょっとお伝えできればなと思ってお話ししました。

神奈川県 福祉子どもみらい局 福祉部 障害サービス課 運営指導グループ

ありがとうございます、春日台センターセンターのことは存じておりまして、当課の課長とかも見学に行かせていただいているところです。高齢の事業も含めていろいろなものが集まっているんだと思うんですけど、それも一つのやり方、選択肢といえますか、そういう

ところはあります。

議長

介護とか度外視で地域と交流という話かと。

厚木市手をつなぐ育成会

バリアフリーの通路ができれば、厚木精華園もそうですけど、ちょっと中入ってもらっちゃ困るよって何者か、変な人もくるかもわからないからって、バリアが強い、老人ホームもそうですけど何か病気持ってこられても困るし、ってお互いバリアが強いんですね。それをバリアフリーの通路で、健常の一步手前、入るか入らないかの一步手前の方が車椅子を使って、ちょっとお手伝いに来ました、種まきしに来ましたとか、そういうことができるように施設が将来的にできるといいなと思います。よろしくお願いします。

神奈川県 福祉子どもみらい局 福祉部 障害サービス課 運営指導グループ

ありがとうございます。

精神保健福祉促進会フレッシュ厚木

国連の話、どうしても気になって、ちょっと見たんですけど、権利条約に2014年に日本が批准して障害者差別解消法ができたんですよとか、2022年に初めての見直しといますか、そこで勧告を受けたらしいとでます、日本が。やはり日本がそうやって国連に加盟して国際権利条約を批准している国であれば、勧告されたとおりにすべきじゃないかなって。難しく考えないで、ここに書かれている通り、やはり施設という考えでなくて、地域に溶け込んで暮らせるってことを神奈川県が目指せばいいだけなんじゃないかなって。それはお金とか色々かかることかもしれないですけど、神奈川県が、障がい福祉課が、力強く、地域の理解度とか違いがあるかもしれないですけど、力強く引っ張っていけばいいだけじゃないかなって、ちょっと思ったんです。ちょっとそれがすごく引っ掛かるのがなぜかってことなんですけど、このお彼岸の時に5年振りに姪っ子がオランダから帰ってきて、久しぶりに会ったんですけど、うちの障がいのある、精神障害のある息子と同じ年の姪っ子さんなんですけど、うちの息子のことを懐かしんでくれるんですよ。いないのって。まだ入院してるっていうと、えー残念、みたいな感じで。嫌なのかなって思ったんですけど、女の子だし、全然そんなことなくて、すごく懐かしんでくれて、私のこと忘れちゃったかしらとか、昔家で遊んだんだから、懐かしくて会いたいみたいな。それで私のこと覚えてるって絶対聞いてねとか、そういうこと言うので、オランダってどうなのって聞いたら、全然障がい者っていう区別がない、実際そんな風に暮らしていて、私の周りも自閉症の友達が多くって、全然、私自閉症だしって言うし、自閉症だからって何って誰も見ないって言うんですね。逆に障がい者だからあの人障がい者だねって言うと、その人がおかしいってみたいに見られるらしいんですよ。全然その辺に普通に暮らしているけどって感じなので、なんだろう、話している感じも全然違って、ちょっとびっくりでこちらは申し訳ないから息子のことちょっと隠しちゃう感じもあって、うちの偏見なんだと思うんですけど、その違いにびっくりしちゃって。まあヨーロッパのようにはいかないのかもしれないですけど、結局それに戻せばいいことなんじゃないのって思うんですね。仕事も精神の病気で休むってなると、全然休める雰囲気なんだそうです。何で休むの、だからダメなんだよって感じは全くないんだそうです。どうぞどうぞしようがない、もちろん医療費もタダだそうで。そもそも「障がい者」っていう言葉がないからって言ってましたね。じゃあ何て言うのってきいたらなんとらんたらんって言ってました

けど、訳すと自由が利かないとか言ってたかな、とにかく障がい者って言葉がないからってこと言ってる。あまりの違いにびっくりしちゃって。全然息子のこと嫌じゃないし、会えなくて残念、あたしのこと覚えてるって聞いていて。もうほんとにびっくりしたっていうか。結局神奈川もそれを目指せばいいんじゃないのかなって。そのくらいです。

神奈川県 福祉子どもみらい局 福祉部 障害サービス課 運営指導グループ

共生、ともに生きる、というキーワードで障害福祉の推進に取り組んでいるところです。これまでの文化と歴史を考えると、今は転換する時期になっているので、ほんとに一筋縄ではいかないと思うんですけど、小さなところからコツコツとやっていきたいと考えております。ありがとうございます。

精神保健福祉促進会フレッシュ厚木

ついでに言わせていただきますと、すみません、厚木精華園の話とは違うんですけど、神奈川県は精神障害者に対して、医療費の助成が入院はみない、通院だけになってるんですね。それは完全に障害種別による格差だと。神奈川県は差別をしていると私はずっと思ってるんですね。知的や身体の方は重度障害者の方に対しては、入院だけみるとか、通院だけみるとかそういうことはしていません。なんで精神科だけ入院はみない、通院だけ、長期入院を避けるためってことなら、長期入院も今は減りましたし、精神科の長期入院を避ける意味で省いたっていうんだったら、内科とか整形とか他の理由で入院した場合は入院費を助成するっていうんです。ずっとこれは私たち言っているんですけど、神奈川県ずっと無視するんですね。だからそれを平気のできるのかってことを、持ち帰っていただきたいです。今度こそ変えてください。

神奈川県 福祉子どもみらい局 福祉部 障害サービス課 運営指導グループ

所管課の方に伝えさせていただきます。

議長

スケジュールは資料に書いてある通りでしょうか。

神奈川県 福祉子どもみらい局 福祉部 障害サービス課 運営指導グループ

はい、スケジュールは資料に書いてある通りで、9月末に実施させていただきました、今日も開催させていただきました、11月か12月くらいに第2回、第3回をやって、可能であれば4回目までやりたいと考えております。タイミング次第ですが、勉強会でこういうこと検討、こういった取り組みとしてこういうことになりましたということを皆様に報告できればいいと思いますが、それが、タイミングがどうなるかということもありますし。追ってまた連絡させていただければと思います。以上です。

議長

勉強会の構成メンバーはこの協議会ではなくて、この資料の通りでしょうか。

神奈川県 福祉子どもみらい局 福祉部 障害サービス課 運営指導グループ

はい、書いてある通りです。

議長

これで大丈夫でしょうか。

神奈川県 福祉子どもみらい局 福祉部 障害サービス課 運営指導グループ

大丈夫です。またもしかしたら、個別にこの中のどこかの法人さんだとか、事業所さんですとか、ご意見聞きにいたりすることがあるかもしれないので、その際には、ご協力いただければと思います。ありがとうございます。

議長

議題（２）については終了させていただきます。

(3) その他

事務局：厚木市障がい福祉課

時間が押してしまっているので手短ですみません、机の上に調査票（案）というのを置かせていただいています。この調査の正式名称は「厚木市障がい福祉サービス利用等実態調査」というものになります。利用と、もうひとつ提供があるんですけど、利用は市民向け、提供が事業所向けの調査になります。今までこの調査については、協議会においてはこのピンクの冊子を２年前に配ったんですけど、委員の改選でお持ちになられない方もいらっしゃるんですが、この障害福祉サービス利用、提供報告書、結果の報告書として皆様に提供させていただいていたところなんです。しかし、実際どういった調査をしているのかを事前にお話させていただいてなかったのが、今回からこの場をお借りして、こういう調査をする旨を報告させていただきます。今回は精神保健福祉促進会フレッシュ厚木さんの方からお話いただいたこともあるのですが、サービス利用者だけではなくて、手帳の所持者だけの人にもアンケートを送付します。サービスの方は身体、知的、精神、児童×150、で計600人、手帳の方は身体、知的、精神保健×100の300人って形で900人に今回増やさせていただきます。今回お配りしているのは、申し訳ないんですけど、たたき台という形の案になっております。今、障がい者基幹相談支援センターもそうですし、課内の方も進めていくところであるんですけど、これから案として確定していくものです。スケジュール的に申し訳ないんですけど、11月の頭から12月の頭までを調査期間として設けておりますので、もし何かこういった調査があった方がいいですとか、選択肢自体こういった風に変えた方がいいんじゃないかってご意見があれば、本日時間があれですので、表にお問合せ先というものが書いてあります。メールでもFAXでもお電話でもいただければ私の方でお話伺わせてもらいますので、ぜひそのあたりご協力いただけるとありがたいなというところです。期限といたしましては、1週間程度、10月の8、9日あたりまでにいただけると対応ができるかなと考えております。いろいろと行間、ページ数などの制約がある中でありますので、ご希望に添えないところがあるかもしれませんが、しっかり対応していきたいなと思っておりますので、何かございましたら、意見頂戴させていただければと思います。よろしく願いいたします。

事務局：厚木市障がい者基幹相談支援センター

お手元にシンポジウムのちらしがあるかと思います。今年もいよいよその時期になりました。私担当して3年目になりますけれど、今年は第1部講演と、第2部当事者のパネルディスカッションということで企画をいたしました。1部は今も障害サービス課の方から色々お話をありましたけれど、当事者目線の障害福祉推進条例、ちょうどできて3年目になります。来年で津久井の事件が10年目になります。そんなところもあって、10回目のふれあいシン

ポジウムというところで、この推進条例が5年で見直す真ん中の年となるので、そこをちょっとお伺いしたいなというところで、県の方に話をさせていただいたところ快諾いただきまして、お話をいただく予定になっております。それを受けて、今パネラーさん、身体障がいの方と、精神障がいの方と、発達障がいの方3名の方にご登壇いただいて、当事者目線の障害福祉推進条例のこととか、あと合理的配慮ですね、それについて厚木市に住んでどうなのかなという忌憚のない意見をいただきながらこうディスカッションできればなという風に思っております。長らくやっていた落語、お笑いネタは今回ちょっとないので、お楽しみにしていた方すみません、ごさいませんのでご承知おきください。二次元コードもしくは裏面がFAXで申込になっておりますので、ちょうど障害者週間にもなります、6日土曜日、いろいろ他のイベントも重なってくる時期なんです、この場所でやりますので、ぜひご参加いただければと思いますし、皆様のご所属に戻りましたら周知をいただければと思います。よろしくお願ひします。一応、来られた方100名までちょっとした10回記念ということで粗品というのがありますので、お楽しみいただければと思います。以上です。

議長

はい、ありがとうございます。議題はこれで終了ですので、議長を下ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

進行：議長⇒司会（事務局：厚木市障がい者基幹相談支援センター）

事務局：厚木市障がい福祉課

この報告書、お持ちでない方もう一部欲しいよと言う方、少ないですが受付のところにおいてありますので、ご自由にお持ちいただいて構いません。よろしくお願ひします。

3 閉会

- 挨拶 厚木市社会福祉協議会

以上